



「見たり、聞いたり、探ったり」No.258

通算 No.409

青 木 行 雄

東京五輪、閉幕（課題等） 国立競技場（2021年 8 月 8 日）

1964年(昭和39)の開催から57年ぶりに2021年 7 月23日開幕した東京五輪が 8 月 8 日に幕を閉じた。新型コロナウイルスの世界的な流行という困難を乗り越えて開催された異例の大会として歴史に刻まれる事になった。

今大会は、史上初めて開幕が一年延期され、大部分の会場が無観客になるなど、新型コロナの影響によって、当初計画から度重なる変更を余儀なくされて開催されたのである。

17日間の会期中、感染力の強いデルタ株(インド型)の広がりや東京都内の新規感染者数が急増し、一部に中止を求める声も上がった。議会や記者会見などで一部の野党議員やある記者から中止を求める場面も多々あった。

しかし、世界各国から集まった一流の選手たちが見せた力と技は多くの感動を与えてくれた。厳しい状況の中でも大会を開催した意義は大きかったと思う。いろいろな強化策とコロナ対策が実を結んだと言える。

選手たちは、五輪の開催が危ぶまれる不安定な状態でも練習を続け、大会中も感染対策のために、行動制限を課せられてたえてきた。

選手たちがひたむきに競技と向き合う姿に励まされた人は多かっただろうと思う。全力を尽くして戦った選手たちに称賛してあげたい。

日本選手団も頑張った。金27、銀14、銅17の計58個。日本の参加選手583人に対して10%もの成績である。金メダルは過去最多だった1964年(昭和39)の東京大会と2004年(平成16)のアテネ大会の金16個を大きく上回った。特に今回の主催国に新型コロナと言う難題も加わり条件の差はあるものの、メダルの総数が最も多かった。

特に個人戦男女14階級のうち9階級を制した柔道や、2冠を達成した体操の橋本大輝選手、競泳の大橋悠依選手らの活躍は見事であり称賛したい。追加競技としてみとめられたスケートボードで10代選手が活躍し話題も豊富だった。野球で殿堂入りした大分県の山中正竹氏(あまり表面には出なかった)が副指導者として参加していた野球の日本チーム、悲願の金メダルに輝いた。そして開幕



日本の野球チーム、意気揚々と金メダル

前日より頑張ったソフトボール、卓球の混合ダブルスなど、日本ならではの「チーム力」で勝ち取りすばらしかった。

政府は、東京五輪の招致が決まった2013年（平成25）以降、選手の強化費を増加して、柔道などメダル獲得が有望視される競技に重点的に配分してきたという。今回の好成績もこうした強化策が実を結んだのかも知れない。

一方、競泳はメダル獲得数が2000年（平成12）のシドニー五輪以降で最も少ない3個にとどまった。これからの若い世代の育成に力を入れたいものである。

東京五輪は、「多様性と調和」を大きな理念の一つに掲げた。

開会式で日本選手団の旗手を務めたバスケットボールの八村塁選手や聖火リレーの最終ランナーだったテニスの大坂なおみ選手など、日本以外の国にルーツを持つ選手の存在もその象徴であった。

様々な事情で母国を逃れた選手による「難民選手団」や、性的少数者（LGBT）であることを明かした選手も参加していた。

今回特に女性の活躍が目立った。583人の日本選手のうち、女子は史上最多の277人に上り、日本勢の金メダルの約半数を獲得した。

男女平等を進めるため、混合種目も増やしていた。多様性を認め合う社会へと変わる契機にしたいともいわれた。

今大会は、東日本大震災から10年という節目にあたり、「復興五輪」とも位置づけられて来た。

コロナ禍で海外の人たちに復興の様子を見てもらうことはかなわなかったが、表彰式ではメダリストに被災地で作られた花束が贈られ、選手村の食事には現地の食材が使われた。来日した選手や関係者は思っていたより意外と多く数万人に上った。選手村などで大きな集団感染が起きなかったことが成功につながったのかも知れない。多くのボランティアに支えられたことも忘れてはならないと思う。

一方、現代の五輪が抱える課題も浮き彫りになった。

暑さが厳しい真夏に大会を開き、夜間に予選を行うなど、選手にとって厳しい競技日程になったのは、国際オリンピック委員会（IOC）に巨額の放映権料を支払う米テレビ局の意向が優先された結果だといわれている。

大会の延期に伴う追加経費や無観客で失われたチケット収入の補填^{ほてん}は、ほとんど東京都や国が負うことになるという。放映権料を確保しているIOCに比べ、開催都市のリスクが大きいという事のようにある。

東京五輪の開催に対して、最大の課題は「コロナ対策」であった。

感染防止策の指針に「プレーブック」が適用された。（70ページにもおよぶ大会の安全と成功のためのガイドブック）

これ程までに感染防止策に力を入れた組織委の内容を記してみたい。

感染防止策適用が始まった7月1日から8月6日まで、組織委は大会関係者約62万4,000件の検査を行

い陽性者は138人、陽性率0.02%だった。海外から約4万3,000人の関係者が来日し、空港での検査の陽性者は37人、陽性率0.09%、入院した人3人で重症者は0人であったという。

アスリートの感染は29人、ギリシャのアーティスティックスイミングの選手団で6人のクラスターが発生したが、組織委は濃厚接触者の判定が終わる前に選手村を退村させて感染拡大を抑える措置をとったという。来日後の検査で陽性と判明するなどコロナの影響で出場できなくなった選手は全部で19人いたようだが、各競技では混乱なく、順調に試合が消化されたという。

しかし、猛暑では課題を残した。

コロナ禍の前には最大の課題だった「暑さ対策」は不十分だったようである。

テニスでは、気温30度を超える炎天下での試合開催にトップ選手から不満が相次ぎ、大会期間中に試合開始を午前11時から午後3時に変更し、第2セットと第3セットの間に10分間の休憩が取れる特別ルールを導入したという。

サッカー女子決勝も、対戦するカナダとスウェーデン側からの要望で試合開始を午前11時から午後9時に変更した。暑熱対策で東京から札幌へ会場を移したマラソンも、女子のスタートを1時間早めて午前6時開始とした。

サッカーとマラソンは開催の前夜に急遽変更された。無観客が幸いして変更できたが、観客を入れることになっていたら、大きな混乱につながる事態だった。それでも熱中症にかかる選手やボランティアも出て、札幌で行なわれた最終日男子マラソンでは、106人がスタートし、暑さで30人が途中で棄権したという。そんな中にふらつきながら73位で完走した服部勇馬選手がいた。意識が遠のいていたのではないか、多くのものを背負い精根尽き、抱えられ、車椅子で会場を去った。東京より5～6度低いはずの札幌で34度。あまりにも過酷な競技環境であったようである。それにしても豊かな緑に恵まれた自然に隣接した北海道大学のキャンパスの広大さには改めてびっくりした。東京のコンクリートジャングルの中だったらまだひどかったかも知れない。



オープンウォータースイミング。水泳のマラソンである。大変のようだ。



札幌の男子マラソン、106人スタートして30人程が途中で棄権したという。

17日間の熱戦を締め括る閉会式

華やかにフィナーレ (2021年 8 月 8 日)

昼過ぎまで降り続いた雨が不思議と思われるほどにあがった。

午後 8 時、国立競技場を花火が全面をおおい華やかに東京五輪の閉会式が始まった。200を超える国と地域の旗手がステージを囲んだのを合図に、四方から選手たちが入場してきた。赤いジャージーは日本選手団である。試合を終えたばかりの女子バスケットチームは肩を組んで喜びを表していた。金メダルを獲得した野球の田中将大に米国選手が近寄って声をかけている。外国選手の中にはメダルを首にさげてアピールする人や、「ARIGATO」と看板を掲げた人達もあり、リラックスした若い選手達で緑の芝生を埋めていった。

閉会式では1964年(昭和39)の東京大会でこの大会の為に作曲した古関裕而の「オリンピックマーチ」が再び流れて感動した。その時のことをテレビ等で報道した。前回の閉会式で、各国選手が肩を組んでトラックになだれこむ様子をNHKの土門正夫アナウンサーが「国境を越え、宗教を越えました」と伝えた。それから57年のこの閉会式も同じようなテーマになったようである。

会場が暗転すると、一堂に会した選手たちが空に向けたスマートフォンの画面が光る。一人ひとりから舞い上がった無数の光の粒が会場を包むと五輪のシンボルマークへ形を変えていく。そんな映像が大型スクリーンに映し出された。



日本オリンピック委員会 (JOC) 橋本聖子会長。閉会式の挨拶の様子。



国際オリンピック委員会 (IOC) バッハ会長の挨拶。オリンピックのマスク姿。



閉会式の時、競技場の花火。



聖火台を取りまくアスリート達。閉会式。



和服姿の小池東京都知事。オリンピック旗を渡す為に持ち上げた。



オリンピック旗を受け取るパリ・アンヌ・イダルゴ市長。小池東京都知事より、バッハ会長経由で受け取る。女性代表から女性代表へは、初めてとのこと。



閉会式で消火寸前の聖火。まもなく消えた。



聖火の火が消えて丸くなる前の姿。

開会式の2日前から始まった福島のソフトボール競技から、1万1千人の世界の選手達が33競技339種目でメダルを競った。大会運営に直接かかわるボランティアの登録は5万1672人に上り、全国から集められた2200台ものバスが競技会場や選手村などを結び、協力したという。

フィールドでは公園の芝生をイメージ。ダンスや和太鼓演奏など各種パフォーマンスが繰り広げられ、「東京音頭」に合わせ盆踊りなどでは一緒に踊り出す選手もいた。

五輪、旗引き継ぎ式は和服姿の小池知事からバッハ会長へ、バッハ会長からパリのアンヌ・イダルゴ市長へ、史上初めて女性首長同士の引き渡しとなった。初めて見る小池知事の和服姿、コロナ、コロナで大変な毎日をテレビで見る作業服の知事とは別人のようであった。

復興五輪の理念も込めて、岩手県出身の宮沢賢治作詞作曲「星めぐりの歌」が流れて聖火が消えると、パラリンピックの予告映像を挟んで最後に「ARIGATO」の文字がビジョンに浮かび上がった。大会を開催できたことへの感謝を世界に伝えるメッセージである。

世界の人々も、バイデン米大統領も、IOCのバッハ会長やデュービ五輪統括部長も感謝をこめて表現した。



次期開催、フランスのパリ。エッフェル塔に2024年のパリの旗が。



お台場にもう一つの聖火台。開催中はこの聖火に火がともった。火は水素を使用。

デュビ五輪統括部長は、

「世界が新型コロナウイルス危機に直面する中、安全に大会を実現するという目標から一度たりともおれず逃げなかった」と高く評価。「われわれはオリンピックを延期した経験はなく、全ての契約に再署名し、コスト増を抑えるための経費削減も必要だった」

その過程は「信じられない程複雑だった」と振り返り。

コロナ禍の中で「これだけの規模のイベントを世界の誰も経験していない」と強調し、延期やコロナという課題に挑戦する中で「日本より優れたパートナーはいない」と称賛したという。そして、日本の組織委員会、東京都、日本政府などに敬意を表明した。

開催前はコロナ禍の中で本当に出来るのかと、多くの人々の反対もあった。しかしここまで来て、苦労して完成した競技場や多くの施設・設備の事を思うと実行して欲しいと思う人々も多くいた。

結果、開催して良かったと思う人は68%に上るという。「やらずに後悔するより、やって後悔（反省）しよう」（やらなければ、何も残らない。残るのは借金のみ）

やっぱり気になる、メダリスト（メダル）への報奨金

日本オリンピック委員会（JOC）は、東京五輪メダリストへ報奨金として、金は500万円、銀は200万円、銅は100万円を贈ることを決めている。

自国開催の大会で獲得したメダルは金、総数とも史上最多となったため、支給額も史上最高の計4億円を超える計算になる。

今大会で日本は金27、銀14、銅17個となった。団体やリレー、ダブルスなど複数人で臨む種目は、一人ずつ規定額を支払い、複数種目でメダルを手にした選手はそれぞれを合算する。

最高額は体操男子で個人総合と種目別鉄棒の2冠に輝き、団体総合でも銀メダルを手にした橋本大輝（20）＝順大＝で1,200万円が贈られる見通し。競泳女子個人メドレーで2種を制した大橋悠依（25）＝イトマン東進＝には1,000万円を支給する。

メダル獲得表

米中 日英 R 豪 オ フ ド イ カ ブ ラ キ ハ 韓 ポ チ ケ ノ ジャ ス ス ス デ ン ク ロ イ セ ベ ブル ガ ス ロ ウ ス バ

出典：朝日新聞

夏季五輪 日本のメダル獲得数

開催年	開催都市	※1916、40、44年は戦争のため中止
1912	ストックホルム	[初参加]
20	アントワープ	2(銀)
24	パリ	1(銅)
28	アムステルダム	22(金) 5(銀) 5(銅)
32	ロサンゼルス	7(金) 7(銀) 4(銅) 18
36	ベルリン	6(金) 4(銀) 8(銅) 18
48	ロンドン	[招待されず]
52	ヘルシンキ	1(金) 6(銀) 2(銅) 9
56	メルボルン	4(金) 10(銀) 5(銅) 19
60	ローマ	4(金) 7(銀) 7(銅) 18
64	東京	16(金) 5(銀) 8(銅) 29
68	メキシコ市	11(金) 7(銀) 7(銅) 25
72	ミュンヘン	13(金) 8(銀) 8(銅) 29
76	モントリオール	9(金) 6(銀) 10(銅) 25
80	モスクワ	[不参加]
84	ロサンゼルス	10(金) 8(銀) 14(銅) 32
88	ソウル	4(金) 3(銀) 7(銅) 14
92	バルセロナ	3(金) 8(銀) 11(銅) 22
96	アトランタ	3(金) 6(銀) 5(銅) 14
2000	シドニー	5(金) 8(銀) 5(銅) 18
04	アテネ	16(金) 9(銀) 12(銅) 37
08	北京	9(金) 8(銀) 8(銅) 25
12	ロンドン	7(金) 14(銀) 17(銅) 38
16	リオデジャネイロ	12(金) 8(銀) 21(銅) 41
21	東京	27(金) 14(銀) 17(銅) 58

出典：サンケイスポーツ

27

競泳女子200m個人メドレー	大橋悠依
400m個人メドレー	大橋悠依
野球	
ソフトボール	
ボクシング女子フェザー級	入江聖奈
フェンシング男子エペ団体	
体操男子個人総合	橋本大輝
種目別鉄棒	橋本大輝
柔道男子60kg級	高藤直寿
66kg級	阿部一二三
73kg級	大野将平
81kg級	永瀬貴規
100kg級	ウルフ・アロン
女子52kg級	阿部詩
70kg級	新井千鶴
78kg級	浜田尚里
78kg超級	素根輝
空手男子形	喜友名諒
スケートボード男子ストリート	堀米雄斗
女子ストリート	西矢柊
女子パーク	四十住さくら
卓球混合ダブルス	水谷隼・伊藤美誠
レスリング男子フリースタイル65kg級	乙黒拓斗
女子50kg級	須崎優衣
53kg級	向田真優
57kg級	川井梨紗子
62kg級	川井友香子

14

陸上男子200m競歩	池田尚希
競泳男子200mバタフライ	本多灯
バスケットボール女子	
自転車女子オムニウム	梶原悠未
ゴルフ女子	稲見萌寧
体操男子団体	
柔道女子48kg級	渡名喜鳳南
混合団体	
空手女子形	清水希容
スケートボード女子パーク	開心那
スポーツクライミング女子複合	野中生萌
サーフィン男子	五十嵐カノア
卓球女子団体	
レスリング男子グレコローマン60kg級	文田健一郎

17

陸上男子200m競歩	山西利和
アーチェリー男子個人	古川高晴
団体	
バドミントン混合ダブルス	渡辺勇大・東野有紗
ボクシング男子フライ級	田中亮明
女子フライ級	並木月海
体操男子種目別あん馬	萱和磨
女子種目別ゆか	村上茉愛
柔道女子57kg級	芳田司
空手男子組手75kg超級	荒賀龍太郎
スケートボード女子ストリート	中山楓奈
スポーツクライミング女子複合	野口啓代
サーフィン女子	都筑有夢路
卓球男子団体	
女子シングルス	伊藤美誠
重量挙げ女子59kg級	安藤美希子
レスリング男子グレコローマン77kg級	屋比久翔平

出典：読売新聞

「金」に輝いた野球は24選手、ソフトボールは15選手に各500万円が支払われる。新型コロナ禍でJOCも財政に余裕があるとはいえないが、日本選手団の福井烈団長は8日の記者会見で「決められた規定の中で選手には支払う」と明言した。（「サンケイスポーツ」より）

メダル獲得表を見ると、米国計113個、中国88個、ROC（ロシア関係）71個、英国65個、日本58個、3種計の個数からだけでいくと日本は5番目になる。

世界の参加国205国と地域でメダルの取得は93国（地域）であり、参加のみの国（地域）も112あった。しかし新型コロナ禍の中、良くも日本に来てくれたと賞賛したい。そして、来ただけで、日本の素晴らしい観光も、美味しい日本食も、もてなしも出来ず、コロナの厳しい規制にしばらくの間帰国された多くのアスリート、関係者に敬意を表し、またいつの日か再来を願いたいと望むばかりである。

参考資料

読売新聞

産経新聞

朝日新聞

サンケイスポーツ

NHK テレビ

令和3年8月15日記